

近畿地方建設局 和歌山工事事務所
資 料 配 布

配布日時	平成12年5月17日
	14時00分

件 名	<p>紀の川大堰における汽水域生物の保全対策 について</p> <p>～タイワンヒライソモドキ(希少種のカニ) の本格移植の実施～</p> <p>移植日時：平成12年5月18日～19日 6月1日～2日(予定)</p> <p>場 所：紀の川下流部(和歌山市有本地先付近)</p>
-----	--

取り扱い	
------	--

同時配布	<p>近畿建設記者クラブ</p> <p>大手前記者クラブ</p>
同時発表	<p>和歌山県政記者クラブ</p> <p>和歌山県地方記者クラブ</p> <p>和歌山県政放送記者クラブ</p>

問い合わせ先	<p>建設省近畿地方建設局 和歌山工事事務所</p> <p>TEL 073-424-2471(代)</p> <p>事業対策官 竹田 光一 (内線301)</p> <p>調査第一課長 仲村 学 (内線351)</p>
--------	---

紀の川大堰における汽水域生物の保全対策について

～台湾ヒライソモドキ（希少種のカニ）の本格移植の実施～

平成10年度に建設省和歌山工事事務所が、奈良女子大学和田恵次教授（動物生態学）に調査方法等のアドバイスを受けて実施した紀の川の汽水域における生物調査で、干潟レッドデータブック^(*)において希少種に指定されている台湾ヒライソモドキが確認されました。

*1 「日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状」（干潟レッドデータブック）
（世界自然保護基金日本委員会、1996年）

この台湾ヒライソモドキは、生息域が確認されている範囲では、紀の川が本州の最北端であるとともに、その生息地は紀の川大堰が完成すると汽水域から淡水域に変わることから、建設省は台湾ヒライソモドキを保全するため、新たに生息地を確保し、移植を行うこととしました。

これまでに台湾ヒライソモドキ移植の実施例が無いことから、本格移植に先立ち、平成10年から平成11年の2ヶ年間にわたり試験移植と追跡調査を行ってきました。

この結果、図-1に示す試験移植地においておおむね台湾ヒライソモドキが生息できる環境であることが確認されました。そこで今回、さらに図-2に示す生息地から本格移植に着手し、平成14年度の紀の川大堰完成時点までに可能な限り多くの台湾ヒライソモドキを移植する予定です。

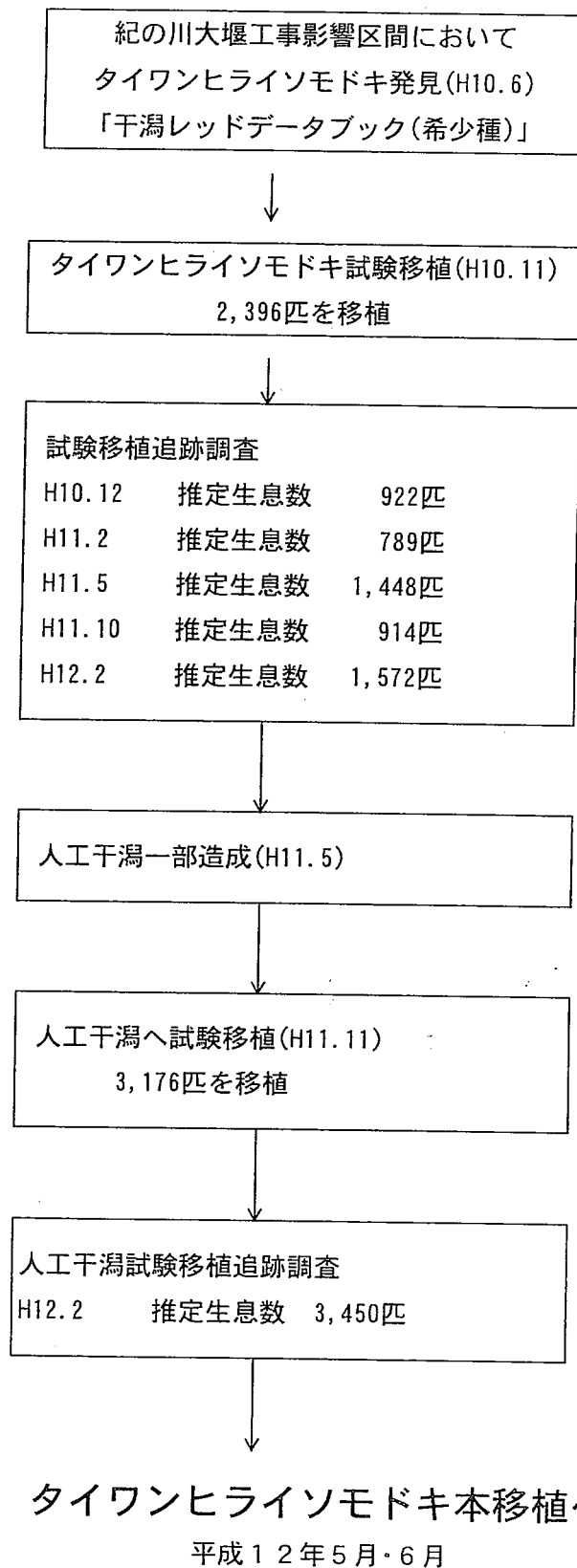
移植日時：平成12年5月18日 14:00~15:00

19日 10:30~11:30

6月1日、2日（予定）

場 所：紀の川下流部（和歌山市有本地先付近）

台湾ヒライソモドキの移植経過



台湾ヒライソモドキ生態資料



台湾ヒライソモドキ *Ptychognathus ishii*

● 分類上の位置

節足動物門 甲殻綱 十脚目 イワガニ科 ヒライソモドキ属

● 貴重種としての指定状況

干潟レッドデータブック¹⁾において「希少」とされている。

● 形態

甲長 8.0mm、甲幅 9.8mm 程度の小型のカニで、甲の上面は完全に平坦で、雄のはさみの根本に長い毛の房がある²⁾。

● 生活史と一般生態

1. 生息環境

河口域の潮間帯転石下に生息する¹⁾。

2. 食性

主にヨシの細片等を食することが現地調査から明らかになっている。

3. 繁殖

抱卵雌は6月もしくは7月から10月もしくは11月にみられ、その最盛期は8月か9月である(富田川)³⁾。

4. 地理的分布

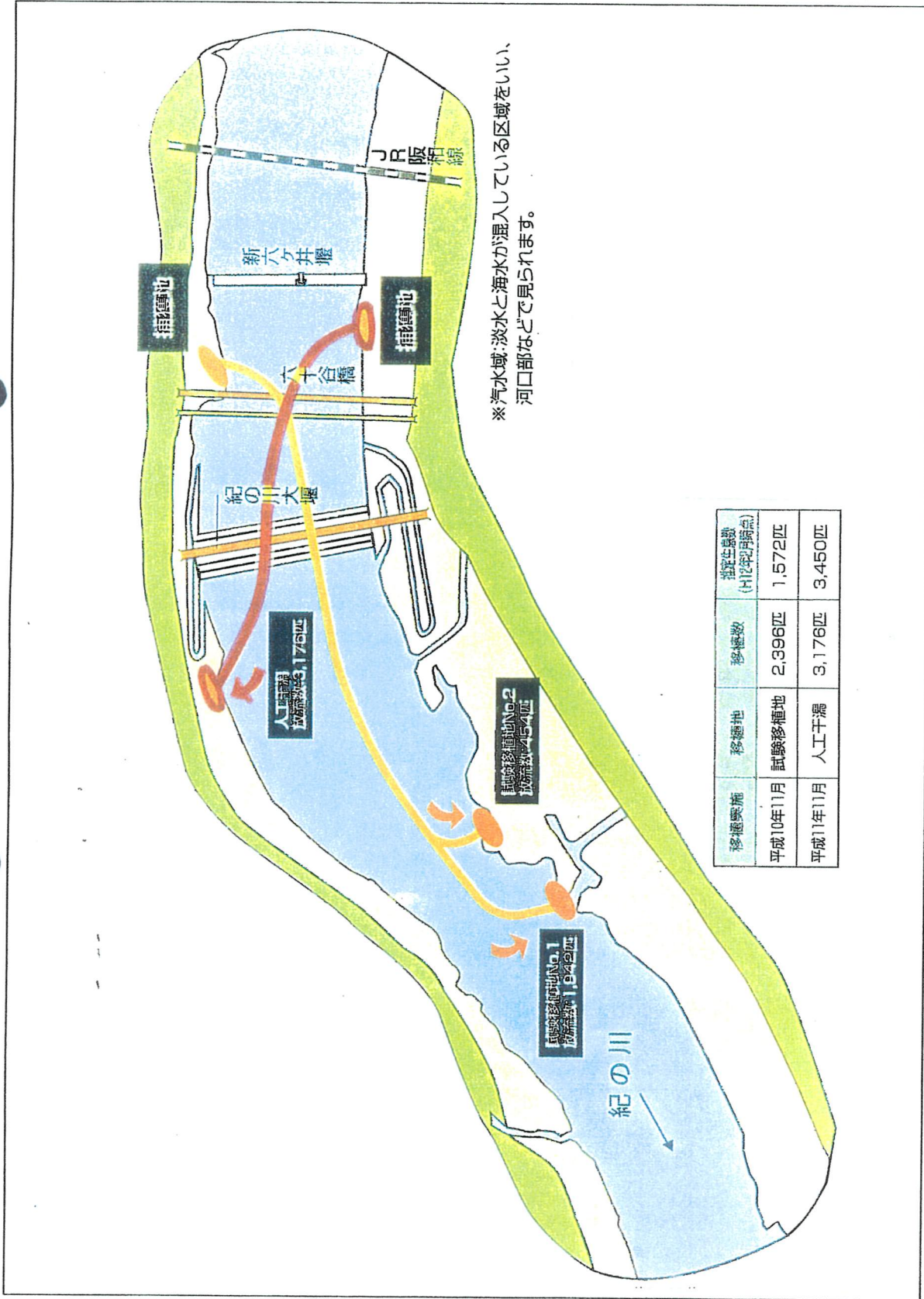
台湾ヒライソモドキは、主に南西諸島(与論島、石垣島および台湾紅頭嶼²⁾)に生息するが、本州ではこれまで和歌山県の有田川、日高川、田辺湾、富田川での記録があるのみである。本調査で見つかった紀ノ川の個体群は本種の最北端個体群となる⁴⁾。

● 紀の川における生息状況等

これまでの調査において、本種はその大部分が紀ノ川大堰より上流、新六ヶ井堰までの狭い範囲に生息していることが判明した。ごく一部の個体がやや下流側(河口から約5.5km)までの間に点在する。本種が採集されたのは、主にヨシ帯から下部側に連続する礫帯の礫下であり、潮間帯の中部から下部に多く、人頭大以上の大型の礫を好む傾向がみられた⁴⁾。

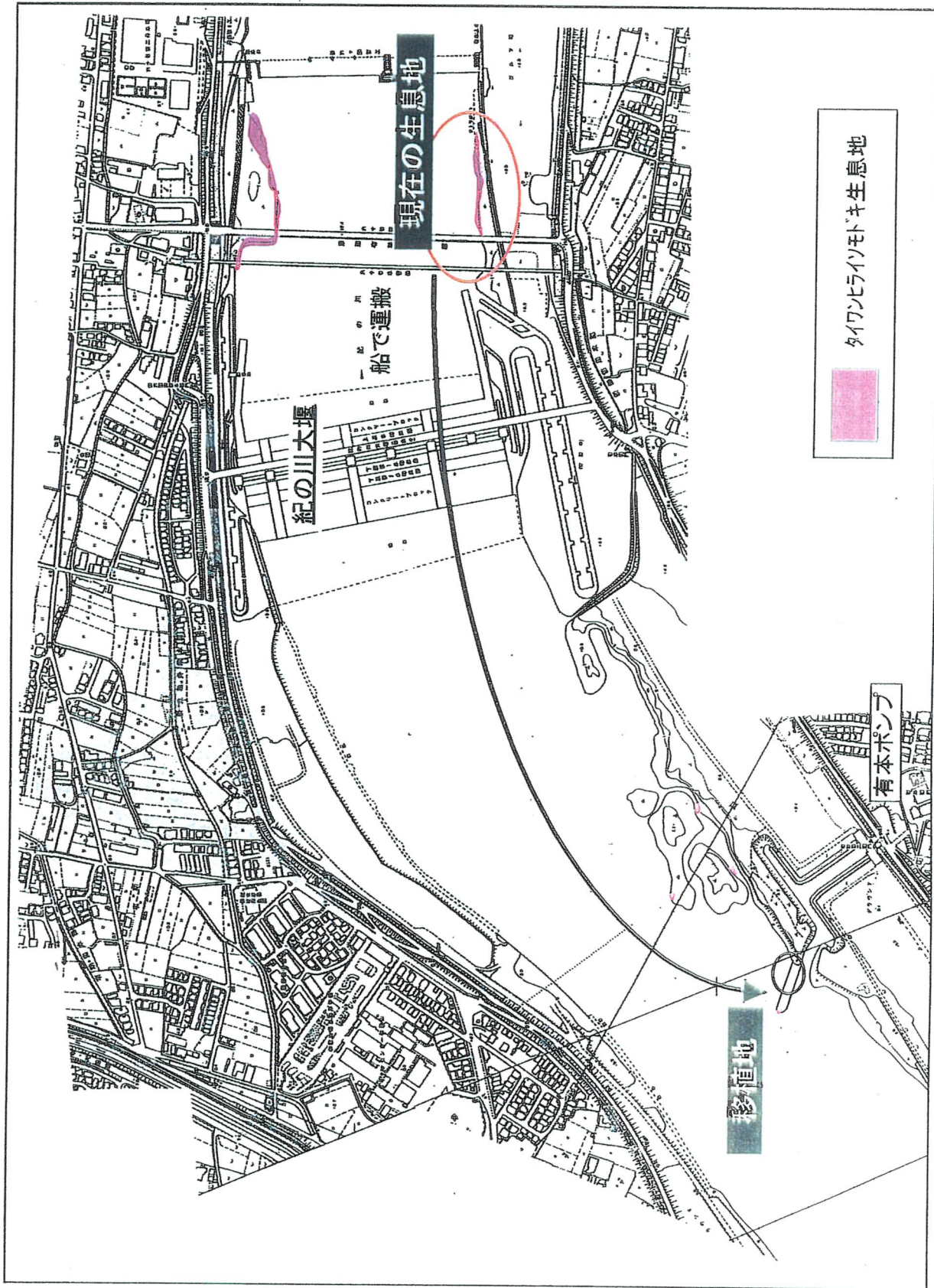
文献

- 1) 世界自然保護基金日本委員会(1996): 特集: 日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状. WWF Japan Science Report, Vol.3, 1996
- 2) 酒井 恒(1976): 日本産蟹類. 講談社
- 3) Y.Fukui & K.Wada(1986): Distribution and reproduction of four intertidal crabs (Crustacea, Brachyura) in the Tonda River Estuary, Japan. Marine Ecology-Progress Series, Vol.30, 229-241
- 4) 野元彰人・淀 真理・木邑聡美・岸野 底・酒野光世・和田恵次(1999): 紀ノ川河口域で記録されたイワガニ科の6稀種. 南紀生物, 41(1), 5-9



移植実施	移植地	移植数	調査生息数 (H12年10月時点)
平成10年11月	試験移植地	2,396匹	1,572匹
平成11年11月	人工干潟	3,176匹	3,450匹

図-1 これまでの移植作業概要



図一 2 移植作業概要